

第 4 回 化学防災指針セミナー

—混合危険の事故事例と対策—

主催 日本化学会 環境・安全推進委員会

会 期 平成 23 年 9 月 8 日 (木) 13 時 00 分～16 時 15 分

会 場 幕張メッセ国際会議場 (千葉県千葉市美浜区中瀬 2-1、合同展会場)

[交通]JR京葉線 海浜幕張駅 下車徒歩5分/JR総武線 幕張本郷駅 下車 バス15分

募集人員 50 名

趣 旨 大地震に伴う火災原因の調査によれば、数種類の試薬がビンの破損により混ざり、触れあう、「実験室における薬品類の混蝕による発火」が無視できない割合で発生した。混蝕発火のみならず、物質の混合による様々な発火・爆発危険性にも厳重なる注意が必要である。これら物質の混合による発火・爆発危険性の発現現象を総称して「混合危険」と呼ぶ。本セミナーでは、輸送時における混載や廃棄物・プラントなど、さまざまな状況下での事故事例分析を通して、事故の未然防止とその対策を考える。

13:00-13:05 企画趣旨説明 (日本化学会環境・安全推進委員会)

13:05-13:50 講演 1 混合危険とは—消防法と発火・爆発

(産業技術総合研究所) 松永 猛裕

13:50-14:35 講演 2 事故事例に見る混合危険の毒性と応急処置

(東京大学環境安全研究センター) 刈間 理介

14:45-15:30 講演 3 混合危険の評価方法と未然防止

(東京大学新領域創成科学研究科) 阿久津 好明

15:30-16:15 講演 4 混載・廃棄物・プラントにおけるヒヤリハットと事故事例の分析

(東京消防庁光が丘消防署) 森尻 宏

参加費 3,000円 (分析展2010/科学機器展2010の入場料は無料です)

参加申込方法 「9/8 第 4 回化学防災指針セミナー出席」と標記し、氏名・所属・連絡先住所・電話番号・FAX 番号・e-mail・会員/非会員の別を明記のうえ、申込先あて e-mail (n-tanaka@chemistry.or.jp) にてお申込みください。

申込先 日本化学会企画部 担当：田中・美園 E-mail: n-tanaka@chemistry.or.jp